

浄土真宗本願寺派 西光寺寺報

「本願に遇う人生」

慈光照護のもと、門信徒の皆様にはますます
すご清祥にお念仏ご相続のことと慶賀に存
じます。やつと少し春らしくなつてきまし
たね。いかがお過ごしでしょうか。

先日研修で広島に行つた際、6年前の京都
伝道院での研修以来ずつとお世話になつて
いる、福岡義朝先生から「参考にしなさい」
と先生のお寺の寺報をいただきました。そ
の中に、ひとつの詩が載っていました。この
詩は、広島浄土真宗の僧侶が学ぶ『真宗学
寮』という学校の岡本法治先生が、東日本大
震災の仙台の避難所に行かれた時に、その避
難所のホールに掛けてあつた額に入つてい
た詩を書き写して帰られたものだそうです。
その詩をいつたい誰が書いたのか調べたら、
もともとニューヨーク市立大病院のリハ
ビリテーションルームに刻んであつたもの
だということがわかつたそうです。作者は
誰なのか不明ですが、ベトナム戦争で心身と
もに深く傷ついた若者が書いたとも言われ

ているそうです。リハビリの
部屋に刻んであつたわけです
から、作者は戦争で負つた怪
我で、体はもろろん、心も戦
いの記憶などでとても苦し
かつたのだと思われます。し
かし、信仰によつてより深い喜びに遇つてい
かれたのでしょうか。作者は敬虔なキリスト
教の信者だつたと思われますが、この詩の内
容が仏教の教えに相通じるものがあると思
われて掲載されたのです。私もそのままご
紹介させていただきます。

彼岸会にお参りください。
20日(火・祝) 昼2時より

大事をなそうとして
力を与えてほしいと神に求めたのに
慎み深く従順であるようにと
弱さを授かつた

より偉大なことができるようにと
健康を求めたのに

より良きことができるようにと
病弱を与えられた

幸せになろうとして富を求めたのに
賢明であるようにと

貧困を授かつた
世の人々の賞賛を得ようとして

権力を求めたのに
神の前にひざまずくようにと

弱さを授かつた

人生を享樂しようとして

あらゆるものを求めたのに

あらゆるものを喜べるようにと

いのちを授かつた

求めたものは

ひとつとして与えられなかつたが

願いはすべて聞き届けられた

神の意にそわぬ者であるにもかかわらず

心の中に言い表せない祈りは

すべてかなえられた

私はあらゆる人の中で

もつとも祝福されたのだ

仏説観無量寿經というお経の中に、
「号泣向仏」という言葉が出てきます。仏に

向かつて「なぜ自分だけがこんな目に遭わな
くてはいけないのですか！」と泣き叫ぶこと

です。天を恨むという言葉もあります。誰
しも人生の中では「なんで私だけ……」と叫

びたくなることがあるものです。しかし、そ
こにこそ人生の大きな意味があると思いま

す。私の願い通りにいかない人生の中にこ
そ、もつと大きな願いが知らされていくので

す。それは私がこの世界に生まれくるはるか以前、無始以来私にかけられていた願い、この世界、この宇宙をも超えた願いが知らされるということ。私にかけられていた願いを、仏教では『本願』といいます。本願とは、お仏壇のご本尊、『阿弥陀如来』が私たちにかけて続けてくださっている願いのことです。すつたもんだの私の人生ですが、この本願に遇うことで、思い通りにならない私の人生が、そのままでもこそ本当によかったと、なすけるようになるのだと思います。

「彼岸会のご案内」

日	10時〜	14時〜	19時〜
20日 (火)		速夜 仏説 観無量寿經 法話二席	

鯖江市称名寺若院

ご法話

本願寺派布教使

佐々木 和則師です。

おかげさまで、春の彼岸会も4年目となりました。みなさんぜひお参りください。ご講師には、新進気鋭の若手布教使の佐々木先生をお願いしました。佐々木先生は、昨年の仏教婦人会総会・追悼法要に出講して下さった佐々木和雄先生のお寺の若院さんです。京都の伝道院で一緒にさせていただき

ました。お二人にはいつもたいへんお世話になつています。どうかお気軽に、ご家族お友達お誘い合わせの上お参りくださいね。

以前の寺報で、お蝋燭は毎回必要ありませんよと書きましたら、ある方から「結局は（お蝋燭を）持って来いってことですよ。」とご指摘をいただきました。私の表現が悪くて申し訳ありませんでした。お蝋燭はあくまで任意です。ご門徒さまからは、寺の護持運営のための『護持会費』を頂戴しております。どうぞお念珠だけお持ちになつてお参りください。ひとりでも多くの方がお寺に来ていただいて、仏法に遇つていただくことが、仏さまの願いであり、親鸞さまの願いであり、私たち僧侶の願いです。

「正信偈をお勤めしよう会」

第1回、そして、ご連絡ができませんでしたが、第2回の会を1月と2月に開催することができました。ご参加のご門徒の皆様有り難うございます。つきましては第3回を3月27日（火）の午後7時より、西光寺本堂にて行います。和氣藹藹とやっておりますので、途中からでもお気軽にご参加下さい。もちろん参加費無料です！参加ご希望の方は、メールか電話でお知らせください。お念珠と聖典（寺にもあります）と筆記用具を忘れずに！

「はなまつりにお参りください」

4月8日はお釈迦さまのお誕生日です。仏教徒は「はなまつり」として、大切にお祝いしています。クリスマスは知っていても、はなまつりを知らない方も増えていきます。この機会に、私たち人間の生きる方向を示してくださいとお釈迦さまのご恩に感謝させていただきますましょう。

日時 4月8日（日）

8時半……白象町内パレード

10時半……子供大会

12時……おそば会食

1時……式典・記念講演

会場 岩崎 信行寺さま

となつております。子供大会には紙芝居やビンゴゲームもやります。おそばも無料です。記念講演は大野市の専福寺住職である金森顕宏師です。皆様のお参りをお待ちしています。

では、次は彼岸会でお会いしましょう！

住職 内嶋洪淳（うちじま こうじゅん）

090-8261-3090

若院 内嶋淳浩（うちじま あつひろ）

090-8967-7902

メールアドレス

soichiro4989@gmail.com

※携帯電話に登録しましょう！